

表 水生生物保全のための優先検討物質

化学物質名	優先検討物質 (81物質;H12.12)	優先検討物質 (26物質;H14.8)	目標値算定物質 (8物質;H15.9)	備考:環境基準 健康項目
1,1,1-トリクロロエタン	●			●
1,2,3-トリクロロベンゼン	●			
1,2-ジクロロエタン	●			●
1,2-ジクロロプロパン	●			
2,4-ジクロロフェノール	●	●	●	
2,4-ジクロロフェノキシ酢酸	●			
Alkylbenzene Sulphonate.Liner(C12)	●			
p-n-オクチルフェノール	●			
p-ジクロロベンゼン	●	●		
アクリルアミド	●	●		
アニリン	●	●	●	
アリルアルコール	●			
アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(直鎖アルキルのもの、LAS)	●			
アルジカルブ	●			
イソキサチオン(カルホス)	●			
イソプロチオラン	●			
イプロベンホス	●			
エタノールアミン	●			
エチルパラニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト(EPN)	●			
エチルベンゼン	●	●		
エンドスルファン	●	●		
オキシ銅	●	●		
オクタクロステレン	●			
カルバリル(NAG)	●			
キシレン	●	●		
クロルピリホス	●			
クロロタロニル	●			
クロロホルム	●	●	●要監視項目	
シアン化カリウム	●			●(全シアンとして)
シアン化ナトリウム	●			●(全シアンとして)
シアン化合物	●			●(全シアンとして)
シアン化水素(チバクロン)	●			●(全シアンとして)
ジクロルボス	●			
ジスルホトン(エチルチオメトン)	●			
シマジン	●	●		●
シメトリン	●			
ダイアジノン	●			
テトラクロロエチレン	●			●
テトラメチルチウラムジスルフィド	●	●		●(チウラム)
トリクロロエチレン	●			●
トリフェニルスズ化合物	●			
トリブチルスズ化合物	●			
トリフルラリン	●			
トルエン	●	●		
ナフタレン	●	●	●	
ノニルフェノール	●	●		
パラコート	●			
ビスフェノールA	●			

化学物質名	優先検討物質 (81物質;H12.12)	優先検討物質 (26物質;H14.8)	目標値算定物質 (8物質;H15.9)	備考:環境基準 健康項目
ヒドラジン	●			
ビフェニル		●		
フェニトロチオン(MEP)	●			
フェノール	●	●	●要監視項目	
フェノカルブ	●			
ブタクロール	●			
フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	●	●		
フタル酸ジシクロヘキシル	●			
フタル酸ジブチル	●	●		
フタル酸ブチルベンジル	●	●		
プレチラクロール	●			
ベンゼン	●			●
ベンゾ(a)ピレン	●	●		
ベンゾフェノン	●			
ペンタクロロフェノール	●			
ペンチオカーブ	●			●(チオベンカルブ)
ホルムアルデヒド	●	●	●要監視項目	
マラチオン	●			
クロロベンゼン	●	●		
モリネート	●			
酸化フェンブタズ	●			
単一鎖長ポリオキシエチレンアルキルエーテル	●			

化学物質名	優先検討物質 (81物質;H12.12)	優先検討物質 (26物質;H14.8)	目標値算定物質 (8物質;H15.9)	備考:環境基準 健康項目
アンモニア	●	●		
フッ素	●			●
ホウ素	●			●
カドミウム	●	●	●	●
セレン	●			●
ニッケル	●	●		
ヒ素	●			●
モリブデン	●			
亜鉛	●	●	●環境基準(全亜鉛として)	
鉛	●			●
水銀	●			●(総水銀、アルキル水銀として)
銅	●			

H12.12の81物質選定の根拠

- [1] 水環境中濃度 \geq 安全性を考慮した毒性値(急性毒性、慢性毒性試験の毒性最小値)
- [2] 人の健康に係る環境基準値ならびに要監視項目指針値 $>$ 安全性を考慮した毒性値(急性毒性、慢性毒性試験の毒性最小値)
- [3] PRTR法の第1種指定化学物質のうち、生態毒性クラスが1又は2の物質で、生産・使用量の多い物質
- [4] 専門家の意見により検討が必要と考えられる物質